

# 熱川温泉病院

石川 雅巳(ケアワーカー)

功 績	長年当院で勤務を続け、70歳を超えてもなお介護スタッフとして第一線で活躍し続けている功績
推 薦 者	四家 紀子(病棟師長)
推 薦 理 由	今年で71歳の被推薦者には部下ながら頭が下がる思いです。健康で欠勤することもなく、20代30代の職員と同じ業務を担っており、大変助かっております。元営業職のサラリーマンということもあり接遇には人一倍気遣い、他の職員に対しても気になることはしっかり指導してくれます。体力的に負担が大きい「入浴介助」を始め、長く病棟業務を担ってきた彼を是非理事長賞へご推薦申し上げます。

## 内 容

前職は一般企業の営業職であった石川さんは、45歳の時に介護職への転職を決意し当院に入職し、今年で26年目になるケアワーカーです。性格が穏やかでいつも笑顔、しかもベテランらしく自分の子や孫ほどの年齢の職員が困っていると積極的にサポートする仕事ぶりで同僚からとても頼りにされる存在です。また、彼の人柄は患者さんも惹き付けます。なかには「彼に安心して任せることができるから、これからも熱川で療養を続けたい」とおっしゃられる方もいます。

石川さんの一番の業務は「入浴介助」です。入浴は身体を清潔に保ち、血行を良くする効果があり、患者さんにとって療養生活の楽しみの一つです。しかし、着替えや移動のサポート、洗体など体力勝負の介護業務の中でも特に「きつい」と感じるものです。体を支えて移動するには、患者さんの体重を受けながら自分の姿勢を維持する必要があるため足腰に負荷がかかります。さらに、高温多湿の浴室内は少し動けば冬でも汗だくで、浴室で見かける石川さんはいつも全身汗びっしょりです。若手でも厳しいこの業務を、患者さんに丁寧に優しく声掛けし体調を伺いながらこれまで続けてきました。

古稀を迎えてなお健康に人一倍気を付け、同僚が体調不良の際は勤務変更を快く引き受けています。「この歳だから大変に思うことはあるけど、患者さんの笑顔を見たいからまだまだ頑張るつもり。」と与えられた業務に対して前向きに話してくれた石川さん。健育会のスローガンである「愛情を持って親身な対応」を長年実践し、病棟運営に大きく貢献しています。